

令和7年度緊急被ばく医療関連情報連絡会原子力事業所見学会

茨城県の「緊急被ばく医療関連情報連絡会」が令和7年度活動の一環として、1月14日及び15日に実施した原子力事業所見学会に、同連絡会からの協力依頼に基づき「その他の協力活動」として、以下のとおり参加した。

- 〔開催日時〕 令和8年1月14日（水） 12時15分～17時00分
令和8年1月15日（木） 12時15分～17時00分
〔視察施設〕 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所
〔参加者〕 令和8年1月14日（水）：23名（4名）＊
令和8年1月15日（木）：26名（7名）＊

＊：（）は協定加盟事業所からの参加者。緊急被ばく医療関連情報連絡会幹事は参加者に含めない。

1. 見学会（視察）概要

見学会（視察）は、福島県双葉郡富岡町にある東京電力ホールディングス株式会社 廃炉資料館に集合し、本人確認手続きの後、廃炉資料館内を案内されて概要説明等を受けた。廃炉資料館内では最初に動画「福島第一の事故がどのようにしておきたか。反省と教訓」を聴講し、その後、2班に分かれて、廃炉作業の取組み状況、汚染水・処理水対策、燃料デブリ取り出し、全電源を喪失した1・2号機中央制御室の事故当時の様子、事故対応にあたった所員の思い、などを約40分かけて視察した。

その後、国道6号を經由して約25分をかけて移動用バスで福島第一原子力発電所まで移動した。移動中に地域の状況について説明が行われた。

福島第一原子力発電所に到着後、協力企業棟会議室で本人確認、福島第一原子力発電所の概要説明、入構案内等について説明が行われ、その後、徒歩で入退域管理棟に移動した。

入退域管理棟において一時立入者カードを貸与され、入域準備を整えた上、構内専用バス内から福島第一原子力発電所構内の現場を視察した。

現場視察は、多核種除去設備（ALPS）、5・6号機側グリーンデッキ、タンクエリア、乾式キャスク仮保管設備、倒壊鉄塔、1～4号機側ブルーデッキなどを、東京電力からの説明を交えて約50分程度かけて順次巡った。現場視察の最後にALPS処理水のサンプルを確認した。その後、入退域管理棟で身体汚染検査や被ばく線量の確認を行い、異常ないことを確認した。徒歩で協力企業棟会議室に戻り、質疑応答を行い、移動用バスで廃炉資料館に戻り、予定通りに視察を終了した。

2. 感想等

- ①. 事故発生時の状況をニュース等で見たが、実際にその場所を間近で見て非常に感慨深いものがあった。
- ②. 事故発生時、水素爆発発生及びその直後の発電所の状況をニュース等で報道されたのを見たが、現在の福島第一原子力発電所の状況を見ると、当時のことが信じられないくらいきれいになっていた。事故発生直後の映像では、がれき類が散乱する現場で防護具を着用して作業等を行っている人の姿が目立ってい

たが、現在は敷地内の殆どで防護具等着用不要で普通の作業服で歩いている姿が見られ、また散乱していたがれき類も片付けられていた。事故後のかなり大変な環境の中で廃炉作業が確実に進展していることが確認できた。

更に、福島第一原子力発電所働く作業員の被ばく線量は平均約2mSv/年で法令上の線量限度：50mSv/年かつ100mSv/5年を大きく下回っており、しっかり管理されていることが確認できた。

- ③. 事故発生から数ヵ月後にスクリーニングの応援で行ったが、その当時は周辺地域の至るところで高線量となっており、地震の影響もあり、かなり荒れていた様子であったが、現在は富岡町の様子及び福島第一原子力発電所にバスで移動中に周囲を見たところ、きれいになっており、車も多く通行し、復興が行われていることが確認できた。また、周辺地域の至るところにモニタが設置されていたが、ほぼ自然値となっていた。除染作業が行われたことが説明されたがその結果である。
- ④. 廃炉資料館で、東京電力ホールディングス株式会社は「原子力発電を行うにあたり、周辺に放射性物質を漏らさないように安全に安全を期していると思い込んでいた。思い込んでいた（安全）とは実は驕りと過信にすぎなかったことをまざまざと思い知らされた。あの巨大津波を事前に予想が困難だったからという理由で、この事故を天災としてはならないと考えている。人知の限りを尽くした事前の備えによって防ぐべき事故を防ぐことができなかった。この事実正面から向き合い深く反省する。そして事故の発生と教訓を胸に刻み事故を起こした発電所を安全に廃炉にすること。この大きな責任を果たすことに全力で取り組む。」と決意を述べていたが、同様なことが原子力施設のある事業所にもあてはまると思われる。地震及び津波は予測困難であり、決して他人事とは考えずに、この事故を原子力施設全体の教訓として事前の備えを行い事故を防いでいくべきと感じた。



5・6号側
グリーンデッキ



1～4号側
ブルーデッキ



ALPS処理水
サンプル

写真出典元：東京電力ホールディングス株式会社

以上